

# 三つの花（西部小学校だより） 滑川市立西部小学校 R6.9.13

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花  
ほかほか花  
きらりん花

楽しく学ぶ  
相手の心を思いやる  
きらきらと自分らしく輝く

## 子供たちの姿・様子から感じたこと

夏休み中、ひっそりしていた校舎に主人公である子供たちが戻ってきました。

始業式の朝、各教室の黒板には、先生方からのイラスト入り愛情たっぷりメッセージが書かれており、「おかえり」というメッセージもありました。教職員一同、子供たちに会うのを楽しみにしていました。

2学期が始まり、朝、校門で立っていると、1学期は通り過ぎていった〇〇さんが勇気をもって挨拶し、目が合わなかった〇〇さんは顔を上げて挨拶し、〇〇さんは自分から挨拶しています。2学期最初の子供たちのチャレンジですね。嬉しいです。

校長室から見える休み時間のグラウンドは、鬼ごっこやサッカー、キャッチボール（大谷翔平グローブで）、一輪車、昆虫探し、鉄棒、ジャングルジム等で遊ぶ子供がいっぱいです。

窓から一輪車の練習をしている二人の声が聞こえてきました。「がんばれ、がんばれ、すごいじゃん。」友達の応援もありで10mぐらい乗ることができてうれしそうです。

各学年の教室や廊下には、夏休みの作品が展示してあります。1学期に学習したことを発展させたり、夏休みの思い出を表したり、不思議に思ったことを調べたり、イメージしたデザインを様々な材料で形にした作品がたくさんあり、子供たちの頑張りが感じられました。特に印象的だった作品は、家族の一員である17歳の老犬について、老犬ならではの体の状態と家族ができることを調べ、愛情たっぷりに自分の思いを書いている作品です。引き込まれました。

12日、運動会の赤・白・青・黄の4つの団の応援練習が始まりました。夏休み中から6年生は準備を進め、初めて全校の子供たちと一緒に練習しました。見ていて嬉しくなった姿を紹介します。

- ・6年生がとにかく優しい。そして笑顔で説明している。
- ・応援の振り付けを自分の言葉と身振り手振りですっかり伝えている。
- ・「みんな、いいかんじだよ。」という言葉がある
- ・「分からんことあったら何でも聞いてね。答えるから。」という言葉がある。
- ・5年生がしっかりサポートしている姿が見られた。
- ・練習しながら自分たちで練習の隊形や流れを工夫している。
- ・初めての全体練習で、6年生が失敗しても、6年生の頑張りを感じているから笑う者がいない。

初日の全体練習の感想です。どの団も素敵でした。この後、悩みも出てくると思いますが、この子供たちは、協力し合い必ずやり切ることができると思っています。

今年の運動会は、午前の競技（100m走や各学年等の競技）、お弁当、午後の競技（応援合戦と選手リレー）というプログラムで実施予定です。子供たちが競技や応援、係の仕事等でたくさん活躍できる場を設定していく予定です。特に係活動は、子供たちの力を信じた指導を行います。また、各団の応援は、1学期から一緒に活動してきた縦割り班のつながりを大切に練習していきます。

保護者の皆様、地域の皆様、子供たちの頑張りを応援してください。

## 親子除草ありがとうございました。

8月25日（日）早朝から、親子で環境整備にご協力いただきありがとうございました。グラウンドや校舎裏の畑等の除草作業のおかげで2学期も子供たちが気持ちよく学習できます。

また、通学路等の安全点検もありがとうございました。いただいたご意見を一つずつ検討し、より安全な通学路になるよう様々な関係機関と協力してまいります。

## 楽しく遊びながら考えるコーナをつくりました。

校舎内にいくつか新しい遊びコーナーを設けました。

1つ目は、プログラミング思考を育むパズルゲームコーナーです。球を決められた場所に転がすためのルートづくりを行うパズルです。すでに最高レベルに取り組んでいる子供もいます。

2つ目は、科学的興味・関心を高めるスティックロケットコーナー、紙コップヘリコプターコーナー、わりばし鉄砲コーナー、風船ホバークラフトコーナーです。自由に楽しく遊びながら論理的に考えたり、探求したりする体験コーナーです。紙コップヘリコプターを自分で組み立て、どうしたら長時間飛ばすことができるか工夫している子供もいます。これから、コーナーを増やし子供たちの科学への関心をもっともっと高めていきたいと考えています。

3つ目は、ペットボトルロケットコーナーです。子供たちには、先生方が楽しそうにペットボトルロケットを飛ばす姿を見せました。飛距離が100mを超え、子供たちは大喜び、自分で飛ばしたいと待ちきれない様子です。これから自分たちで空気を入れて発射させる体験をさせたいと思います。

これらは、子供たちが、楽しく遊びながら、試行錯誤し追究できる環境づくりをしたいという学校のチャレンジです。



ロジカルルートパズル



スティックロケット



わりばし鉄砲



ペットボトルロケット



紙コップヘリコプター



風船ホバークラフト

## たくさんの教職員が子供たちをサポート

学校は、たくさんの教職員で子供たちを指導・支援しております。今回は、スタディ・メイトと外国人相談員について紹介します。

スタディ・メイトは、低学年を中心に子供たちの学校生活や学習をサポートしています。低学年では、初めて体験することも多く、スタディ・メイトは担任と連携して、子供たちを見守ったり、声をかけたりしています。時には、体調が悪くなった子供への対応も行います。現在、5名の先生が子供たちをサポートしています。サポートしながら子供たちのよさもたくさん見付け担任へ報告しています。

外国人相談員は、外国にルーツをもつ子供たちの日本語指導を行ったり、生活の悩みを聞いたりするなどしています。西部小学校には、たくさんの外国にルーツを持つ子供が学んでいます。どの子供もとても素敵な子供です。日本語を学ぶことで今以上にコミュニケーション力が高まり、西部小学校の子供たち全体がいろいろな国のことを理解し合える環境づくりができるのではないかと考えます。

ここで紹介するのは、それぞれの業務の一部で、この他にもたくさんの業務を行っています。学校はたくさんの職員がチームで仕事をすることで動いています。